

かしはら
檀原の古き都の野辺にたち
ももそひめ
百襲姫恋ひ 土師は鎮めし

令和五年七月二十八日

大中臣正比呂



やま^ととど^ひももそひ^めのみ^{こと}
倭鳥飛百襲姫命の名の通り、奈良湖を臨む都には多くの鳥が飛来した。
はし^はか^こふ^ん はし^はし^は
箸墓古墳の「箸」は土師が作った由来だ。ユダヤ・メイソン末裔の土師氏
の石工技術で築いた、最古の前方後円墳が桜井市の大市という場所にある。
い^つわ
箸墓の逸話は、通い来る男が姫の化粧箱に悪戯に置いた、男神自身とする
いた^ずら
蛇を夜明けに見て、夜々に受け入れたと思ひ違ひをした百襲姫は、驚き恥
ももそひ^め
じて、自分の陰を箸で突いて自害した、と云う悲恋の物語だと筆者は思う。
ホ^ト じ^がい